

農の架け橋



発行:鹿行農林事務所 経営・普及部門

(銚田地域農業改良普及センター)

TEL:0291(33)6193

FAX:0291(33)6725

寒さが厳しくなってきました。
風邪を引かないよう、体調管理に気を付けましょう。

農業経営士協会鹿行支部と千葉県指導農業士会との交流会が開催されました

農業経営士協会鹿行支部と千葉県指導農業士会3支部との交流会が11月11日に開かれました。

この交流会は、茨城県と千葉県との交流・情報交換を目的として年一回開催されていましたが新型コロナなどの影響で中止が続き、実に4年ぶりの開催となりました。

総勢63名が参加し、午前中はJAなめがたしおさい波崎青販部会のピーマン選果場で現地視察を、午後は神栖市内のホテルで事例発表を行いました。事例発表では、まず鹿行支部の岡野経営士が、「攻めの農業」という題で、海外からの部材の取り寄せ、新資材活用によるコスト低減の工夫や、他者との交流の重要性について発表しました。その後、千葉県の支部からは、水稻経営をかき餅、麩などの6次産業化で発展させてきた事例や、全国的に珍しい赤ピーマンのブランド化の取り組み、経営の多角化や薪ストーブ活用によるコスト低減などの事例が紹介され、質疑応答も盛んに行われました。各支部の活動報告では、資材高騰や労働力不足に関わる課題が多く挙げられ、“農業者一丸となってこの危機に対処していこう”とのお話が聞かれました。



ピーマン選果場視察の様子



事例発表会の様子

サツマイモ栽培の省力化技術「半自動移植機」について

カンショ定植時の省力化を図る半自動移植機を紹介します。

この機械は、マルチの穴あけと苗の植え付け（斜め植え）作業を立ったままの姿勢で同時に行えます。また、植え付けにかかる速度が手植えより一定に保てるので作業の負担軽減だけでなく、作業の効率化も期待できます。なお、株間は25・28・30・33・36・40cmの6段階に調整可能で、手植えより深く挿せる特徴があります。

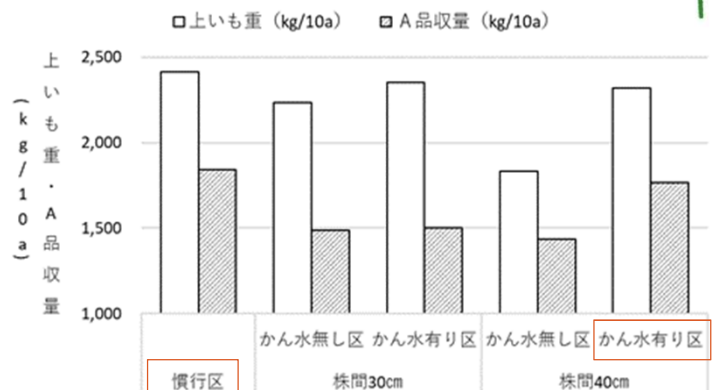
銚田市内で行った現地試験では、移植機活用における適切な株間と移植機の植え付け時の同時かん水実施による収量等の比較を行い、慣行区（手植え株間30cm）と試験区（移植機株間40cm、かん水有り）で上も重、A品収量が同程度の結果となりました（令和3年5月12日定植、同9月29日収穫）。

<使用ポイント>

- ・機械についているセンサーを用いて、畝の幅、高さの調整をする。
- ・曲がった苗は機械に引っかかりやすいので、まっすぐな苗を選ぶ。



カンショ半自動移植機（イセキ）ナウエルナナ PVH100-70PSDBL（1畝1条斜め植え）



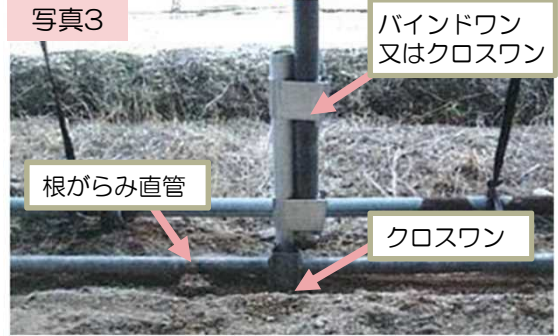
令和3年度現地試験 収量規格調査結果

生産者が自分でできるハウス強靱化（脚部腐食の補修）

パイプハウスでは、脚部に腐食がある場合、強風や積雪に対して極端に強度が低下します。地際部が腐食している場合（写真1）は、補強用パイプ（同じ太さの新しいパイプ）を脇に差し込み、切断したアーチパイプと固定して補強します。

1 補修方法（3間ハウス（間口5.4m）奥行50m パイプ径22.2mm アーチピッチ45cmの場合）

- (1) 腐食したアーチパイプに沿わせて、同じ太さの新しいパイプを深さ50cmを目安に打ち込み、地上部にも40cm出るようにします。また、打ち込む深さを確認できるよう、新しいパイプ50cmの位置に目印を付けておきます（写真2）。
- (2) アーチパイプと、補強用に打ち込んだパイプを接続金具（バインドワン又はクロスワン）で上下2か所を接合します（写真3）。
- (3) 根がらみ直管パイプと補強用に打ち込んだパイプを接続金具（クロスワン）で接合します（写真3）。
- (4) 補強するパイプ数は、腐食の状況によって異なりますが、腐食が激しい場合は、全てのアーチパイプを補強するとともに、根がらみ直管パイプの腐食が激しい場合は併せて交換します。



2 使用資材（10a当たり：間口5.4m 奥行50m×4棟） (1) + (2) 約142,000円/10a（資材費のみ） （錆によって脆（もろ）くなった脚部を補強（全体の3分の1）、根がらみ直管パイプは交換しない場合で試算）

- (1) 補強用脚部パイプ 46,176円
 - ①直管パイプ（パイプ径22.2mm×長さ90cm）@156円 74本/棟×4棟 計296本
- (2) 補強用脚部パイプの接合 95,904円
 - ①バインドワン（22×22）@126円 148個/棟×4棟 計592個
※ バインドワン(22×22)の代わりにクロスワン(22×22)を使用することも可能
 - ②クロスワン（22×22）@72円 74本/棟×4棟 計296本（根がらみ直管と接合）

【引用（一部改変）・参考文献】
農業用パイプハウス強化マニュアル（令和元年12月）（鳥取県農業気象協議会・鳥取県）



鉾田市4Hクラブが水戸市商工祭に出店しました！



11月20日（日）、鉾田市4Hクラブが、リリーアリーナMITOで行われた第47回水戸市商工祭「秋の商工マルシェ」に出店し、消費者と交流しました。イチゴやカンショ、ハクサイなどクラブ員が栽培した野菜を景品にした野菜のくじ引き販売と焼き芋販売を行いました。クラブ員からは「昨年に引き続き水戸市商工祭に参加したことで、鉾田市以外の消費者に対しても自分たちが作った野菜のPRができてよかった。」との声が聞かれるなど、充実した活動となりました。

鉾田市4Hクラブに興味を持たれた方は、鉾田普及センター（担当：永井）までご連絡ください。



県オリジナル品種 イバラキング・いばらキッスを栽培しませんか？

メロン「イバラキング」の種子、イチゴ「いばらキッス」の親株購入の申込みを行っています。生産・販売にあたっては、栽培マニュアルに準じて栽培することや、出荷資材に品種名を明記すること等が必要です。なお、「いばらキッス」の栽培については、JA部会または県いちご経営研究会に加盟することも条件となります。

興味のある方は、普及センター担当者にお問い合わせください。（メロン：三輪、イチゴ：佐藤）

○イバラキング：肥大性は良く、上品な香りと甘さ等の食味が良い。

（注文×令和5年1月31日）

○いばらキッス：甘くてジューシーな味が特徴

（注文×令和5年1月31日）

